



平成 28 年 1 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 Gunosy
代 表 者 名 代表取締役 福 島 良 典
最高経営責任者
(コード番号：6047 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役 伊 藤 光 茂
最高財務責任者
(TEL. 03-6455-4560)

平成 28 年 5 月期第 2 四半期 (累計) 業績予想との差異
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 7 月 14 日に公表いたしました平成 28 年 5 月期第 2 四半期 (累計) 期間 (平成 27 年 6 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日) の業績予想と本日公表の実績において、下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。また、当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 7 月 14 日に公表した平成 28 年 5 月期通期 (平成 27 年 6 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日) の業績予想につきましても下記の通り修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 5 月期第 2 四半期 (累計) 期間 (平成 27 年 6 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日) の
業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,258	百万円 310	百万円 310	百万円 275	円 銭 12.57
実績値 (B)	1,887	177	179	155	7.12
増減額 (B-A)	△371	△133	△131	△120	
増減率 (%)	△16.5	△42.9	△42.3	△43.5	
(参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 5 月期第 2 四半期累計期間)	1,277	△296	△300	△301	△16.44

2. 平成 28 年 5 月期通期業績予想数値の修正（平成 27 年 6 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,133	百万円 1,128	百万円 1,128	百万円 1,001	円 銭 45.67
今回修正予想 (B)	4,158	407	412	362	16.63
増減額 (B-A)	△974	△720	△715	△638	
増減率 (%)	△19.0	△63.9	△63.4	△63.8	
(参考) 前期実績 (平成 27 年 5 月期)	3,165	190	153	136	7.31

3. 差異及び業績予想修正の理由

当第 2 四半期累計期間におきましては、1 ダウンロード（以下、DL といいます）当たりの獲得費用、新規 DL 数、DL したユーザーの継続率は順調に推移いたしました。一方、1 DL 当たりの収益性は、パフォーマンス型広告に係る稼働広告主数が減少し、当初予想を下回って推移いたしました。

売上高につきましては、市場の成長著しい動画広告商品の販売が順調に増加したものの、前述のパフォーマンス型広告に係る稼働広告主数の不振により、1 DL 当たりの収益性が当初予想を下回り、結果、売上高についても当初予想を下回って推移いたしました。なお、当初予想策定時において、1 DL 当たりの収益性は、前期（平成 27 年 5 月期）においては上期に増加、下期に微減したことを勘案して、当期において第 1 四半期は引き続き微減するものの、ユーザー規模の拡大に見合う稼働広告主数の増加を見込み、第 2 四半期以降に増加する計画としておりましたが、第 1 四半期会計期間において当初想定以上に不振となり、第 2 四半期会計期間において下げ止まったものの、当初予想の売上高を達成するまでには至りませんでした。

費用につきましては、ユーザーの獲得効率が好調であることを受けて、広告宣伝費を引き続き投下したものの、売上高が当初予想を下回ったことを受け、当初予想と比較して抑制した結果、広告宣伝費は 837 百万円を計上いたしました。その他の費用につきましては、概ね当初予想通りに推移いたしました。

結果として、当第 2 四半期累計期間の業績は、売上高 1,887 百万円（当初予想比 371 百万円減少）、営業利益 177 百万円（当初予想比 133 百万円減少）、経常利益 179 百万円（当初予想比 131 百万円減少）、四半期純利益 155 百万円（当初予想比 120 百万円減少）となりました。また、当第 2 四半期会計期間末における国内累計 DL 数は 1,191 万 DL となりました。

今後につきましては、市場の成長著しい動画広告市場の領域において高単価の広告商品の更なる開発と販売強化を行うとともに、外部アドテクパートナーとの提携による広告主の受け入れ等を実施してまいります。また、配信情報領域を拡大し、ユーザーの継続率を向上させるために、新規コンテンツの拡充を図ってまいります。

しかしながら、当第 2 四半期累計期間までの実績及び足元の業績、また当第 2 四半期において開始した外部アドテクパートナーとの業務提携案件が当初想定していたほどには収益性向上に寄与しない現状に鑑み、1 DL 当たりの収益性の急激な回復を見込むことは難しいと判断いたしました。また、当期において継続的に広告宣伝費を投下することが将来収益の獲得につながるの考えに基づき、平成 28 年 5 月期通期の業績予想を修正することといたしました。

この結果、平成 28 年 5 月期通期業績につきましては、売上高 4,158 百万円（当初予想比 974 百

万円減少)、営業利益 407 百万円(当初予想比 720 百万円減少)、経常利益 412 百万円(当初予想比 715 百万円減少)、当期純利益 362 百万円(当初予想比 638 百万円減少)となる見通しとなりました。なお、広告宣伝費は 1,637 百万円(当初予想比 286 百万円減少)、平成 28 年 5 月期末における国内累計 DL 数は、1,373 万 DL(当初予想比 18 万 DL 増加)となる見通しとなりました。

前述の平成 28 年 5 月期通期業績予想の策定にあたり、下期の業績推移につきましては、主に次のような想定をしております。売上高につきましては、1 DL 当たりの収益性は伸長しないと仮定する一方、DL 数が積み上がることを勘案し、上期と比較して下期は 383 百万円の増加を想定しております。また、費用につきましては、1DL 当たりの獲得費用が好調であることを勘案し、広告宣伝費を上期と比較してほぼ同額投下する他、協業パートナーとの共同事業に係る開発等に伴う人件費の増加及び人員増加に対応するための増床関連費用等を見込み、上期と比較して営業費用が 330 百万円増加することを想定しております。結果として、営業利益につきましては、上期と比較して下期は 53 百万円増加することを想定しております。

- (注) 1. 1 株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 平成 26 年 12 月 29 日付で株式 1 株につき 100 株の割合で株式分割を行っております。上記では平成 27 年 5 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算出しております。
3. 上記の業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上